



むかい

学校教育目標

- ・かしこく
- ・やさしく
- ・たくましく
- ・なかよく

もうすぐ立春

校長

暦の上ではもうすぐ「立春」。室内にいと窓越しにポカポカとお日様の温かさ、ありがたさを感じます。少しずつ春が近付いているようです。しかし、一歩外に出ると北風の冷たさが身に染みる日もまだまだこれからもありそうです。そのような中ですが、校庭では子どもたちが、友達と追いかっこやボール遊びをしたりしている姿が見られます。寒い中ですが子どもたちは元気に学校生活を楽しんでいるようです。

先日、インターネットである記事が目につきましたので以下御紹介させていただきます。

学びに適した時期に、子供の学びのタイミングに合わせて、指導や助言ができると最高の結果につながっていきます。とはいえ、それはまさに生ものであり、いつでもそうなるとは限らないため、何度やってもいつでも最高のタイミングで指導するということは本当に難しいのです。まさにそのことを表した言葉として「啐啄同時（そったくどうじ）」という言葉があります。「啐啄同時」とは、鳥のヒナが卵から生まれ出ようと殻の中から卵の殻をつついて音をたてた時、それを聞きつけた親鳥が、すかさず外から卵をついばんで殻を破る手助けをすることを意味しています。どちらかが早すぎても、遅すぎてもいけません。「同時」であることで命が誕生します。

そこで、学校に置き換え、改めてこの言葉について考えてみました。親鳥である私たちは、ヒナである子供たち一人一人の「知りたい」「やってみたい」と思う、その時を逃さないよう、すかさず適切な指導や必要な支援を行い、子供たちの成長を促していかなければなりません。私たちは、「どんなタイミングで」「どんなこと」を指導・支援すれば「どのような力が身に付くのか」ということを大事にしています。そして、今年度身に付けたことを次の学年でどう活かしていくのがよいかといった、学習のつながりも考えているのです。

（皆野町立皆野小学校 学校だよりより）

本年度もあと2か月足らずとなりました。教職員一同、子どもたち一人ひとりの思いを大切にしながら、1年間の締めくくりがしっかりできるような支援してまいります。ご家庭でも引き続きお子さんへの励ましをよろしくお願いいたします。